

## 当日の発表順と活動報告の内容

<p><b>1. 特定非営利活動法人 BORDER FREE (ボーダーフリー)</b></p> <p>経済的事情等により、学習活動を諦めなければならない子どもたちを減らすため、放課後学習教室を開催。各教室の施設費、講師の交通費や備品購入、チラシ印刷などに助成金を活用したことで「子どもたちの居場所づくり」と「教育格差是正」に寄与することができた。</p>	<p>助成額：500,000 円</p> 
<p><b>2. 特定非営利活動法人 発達支援の会ー未来</b></p> <p>幼稚園・保育園に行けない子どもも通う幼稚園類似施設として行政から認可されている。助成を受け食育用田んぼの維持、収穫野菜を使った給食や音楽コンサートを開催、木管五重奏の演奏を間近で聞くなど、たくさんの豊かな体験に役立てた。</p>	<p>助成額：500,000 円</p> 
<p><b>3. 特定非営利活動法人 女性のスペース結(ゆい)</b></p> <p>外国にルーツを持つ女性向けに月に1回「ジョウタリ」(「集まり」)を開催、自立支援などに取り組んでいる。助成金は「やさしい日本語教室」教材、子どもたちの下着などの支援に充てられ、共生可能な社会づくりに役立った。</p>	<p>助成額：500,000 円</p> 
<p><b>4. 特定非営利活動法人 パープル・ハンズ</b></p> <p>身寄りがないなどの性的マイノリティが安心できる高齢期を送り、人生を充足のうちに終えるため専門家によるワークショップを実施。その成果のもと、助成を受け「エンディングノート」を制作した。</p>	<p>助成額：500,000 円</p> 
<p><b>5. 西都保健生協 暮らしの保健室こだいら</b></p> <p>毎月1回、無料相談とアロマハンドトリートメントを開催。当初の予定に加えて、在宅医療や病気予防に関する学びの場として学習会も開催、来室者のニーズに応えられる地域の窓口としての役割が広がった。</p>	<p>助成額：91,580 円</p> 
<p><b>6. みんなぐるりんご</b></p> <p>地域の居場所として「みんなの秘密基地『トビバコ』」を運営。助成金の活用により無料開放が可能となった。子どもから高齢者までの多世代を対象に多岐にわたるイベントも開催することができた。</p>	<p>助成額：500,000 円</p> 
<p><b>7. 杉並区福祉有償運送団体連絡会</b></p> <p>福祉有償運送事業の運転手確保が課題となっており、「協力員募集」の広報物作成と配付による事業の認知度向上につなげることができた。</p>	<p>助成額：45,265 円</p> 
<p><b>8. Goopa(グーパ)</b></p> <p>遊びにおいて制限が多い障がい児向けにトランポリン施設等を借り、トランポリンやボールを使って思い切り身体を動かす運動系イベント「RUNTO」を開催。助成を受け、告知を多方面にすることが出来た。</p>	<p>助成額：500,000 円</p> 

## 9. フードネット江戸川

助成額：340,000円

助成を受け事務所の維持、毎月のフードパントリー実施ができた。また、食品等保管場所の獣害侵入等の対策が課題だったが、ステンレス製収納庫などを購入することで安心安全に食品等を提供する活動の継続につながった。



## 10. 特定非営利活動法人 ピアスマイル

助成額：500,000円

小児病棟に長期入院している子どもたちが月1回紙製の手作りコインを使い、買物を楽しむ企画「きらめき文具店」を開催。ボランティアスタッフがお揃いのTシャツやエプロンを着用することで、広報活動も充実できた。



## 11. 特定非営利活動法人 トイミック

助成額：500,000円

今回の助成では主に「無料で着信用の電話番号を取得でき、登録先3カ所まで無料で発信できる通話アプリ」の開発にあてて2025年3月に実機テストを行い、公開前の段階まで到達することができた。



## 12. 近所のおじちゃん・おばちゃんクラブ

助成額：484,000円

小学校高学年から中学生を対象に「寺子屋子ども勉強会」を実施。今回の助成は寺子屋勉強会の会場費、講師謝礼、交通費（学生講師）、紙・文具代、会場費などに使われ、運営を維持することが出来た。

